



学校法人
日本大学

日本大学認定こども園

幼保連携型



心豊かな
子ども

友だちと遊びを
楽しむ子ども

自ら環境に
かかわって
考える子ども

子どもは、遊びや生活から学んでいきます。

子どもが、自分から遊び始める時、
そこには“思わず〇〇したくなる”ひとやものやことがあるのです。

日本大学認定こども園では、
子どもにとって必要な体験が積み重なっていくような環境を整えて、育ちを支えています。
一人ひとりの子どもが、何に興味をもって、どのようにしようとしているかを読み取りながら、
遊びへとつなげていきます。

時には、思い通りにならないこともあるでしょう。
でも、あたたかく励ましたり見守ったりしてくれる先生や友だちとのつながりが
乗り越えていく力となっていきます。

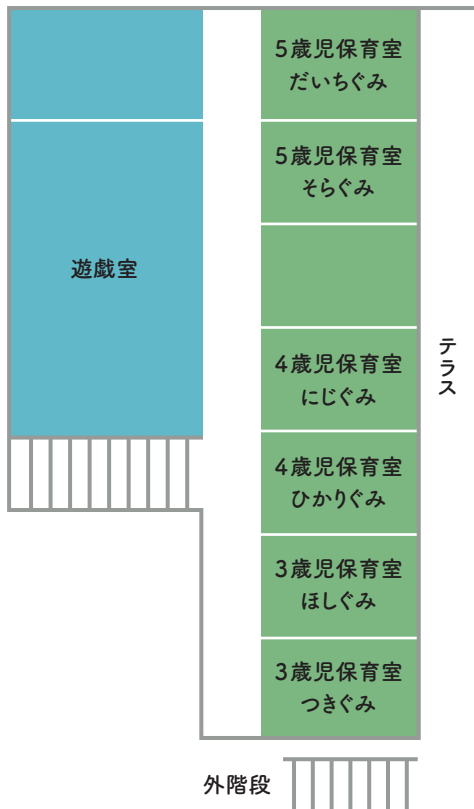
“やりたい”ことが“できた！”体験は、子どもにとって大きな手応えとなり、
自信となって積み重なっていくのです。
友だちや先生と喜びや悔しさといった様々な思いを感じ合う生活の積み重ねが、
社会の中で生きていく力となっていくことでしょう。

自分のことも皆のことも大切にできる子どもたちの生活を、
保護者の方と力を合わせながら創っていきたくと心から願っています。

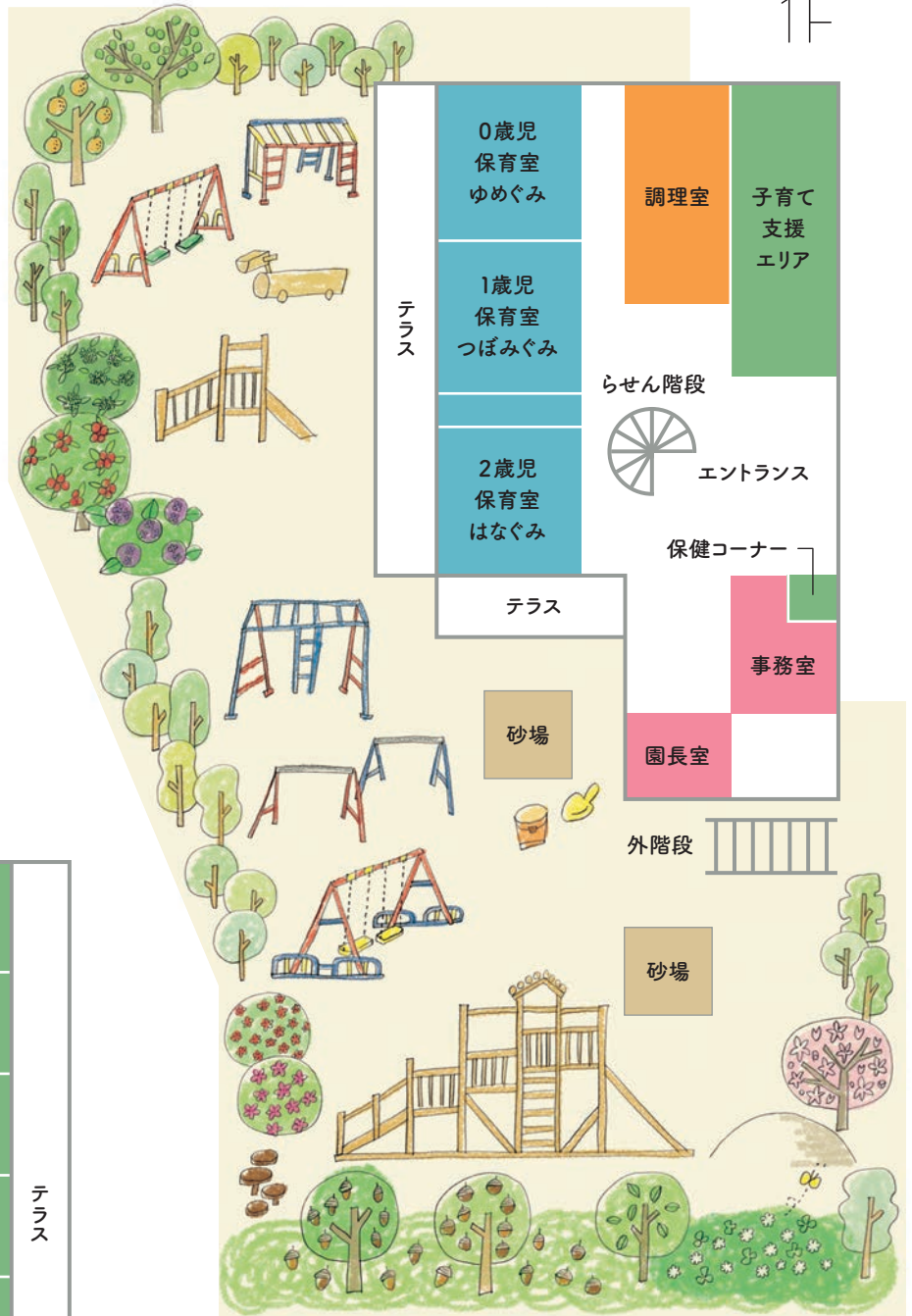
施設紹介



2F



1F



認定こども園のしくみ

認定こども園とは、幼稚園と保育園の機能を一体化し、地域の子育て家庭の支援事業を実施する施設です。本園は認定基準を満たし、東京都から認可を受けた認定こども園です。園児は、主に3種類の認定区分に分かれます。

1号認定子ども

2号認定子ども

3号認定子ども

3・4・5歳児

3・4・5歳児

0・1・2歳児

【幼稚園機能】

【保育園機能】

【保育園機能】

こども園の主な行事

はる

- ・入園式
- ・進級式
- ・健康診断
- ・親子遠足
- ・こどもの日のお祝い
- ・歯科健診



あき

- ・敬老のお祝い
- ・運動会
- ・遠足 (3～5歳児クラス)
- ・健康診断



なつ

- ・水遊び
- ・プール活動
- ・七夕



ふゆ

- ・こども会
- ・おたのしみ会
- ・作品展
- ・節分
- ・ひなまつり
- ・卒園式



毎月行います

- ・誕生会
- ・避難訓練
- ・身体測定

1日のスケジュール



0歳児～2歳児

3歳児～5歳児

3号認定

2号認定

1号認定



特別教育

英語



小さなころから英語に親しむことで英語を身近に感じていきます。英語の歌を歌ったり、英語の絵本の読み聞かせをしたり、英会話の体操でたのしく会話をしたりして学んでいきます。心身ともに豊かな成長を目的としています。

運動



幼児体育専門の講師により体育を行い、心身の調和的発達を図ります。発達段階に応じたプログラムを提供し、運動能力の向上を図ることはもちろんですが、活動を通して子どもたちがどのような心の動きを体験したかを大事にします。楽しい気持ちや悔しい気持ちなど、「心の動き」をたくさん体験できる場を提供します。

リトミック



リトミック（音楽と動きを使った教育）を柱に幼児期に育てたいさまざまな感覚を養います。「音楽って楽しい!」という気持ちを大切に、リズムあそび、表現あそび、楽器あそび、歌あそびなど行います。

定員



年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
1号	—	—	—	20	20	20	60
2号・3号	8	15	16	30	30	30	129
合計	8	15	16	50	50	50	189

開園日

1号認定 月～金 9:00～13:30

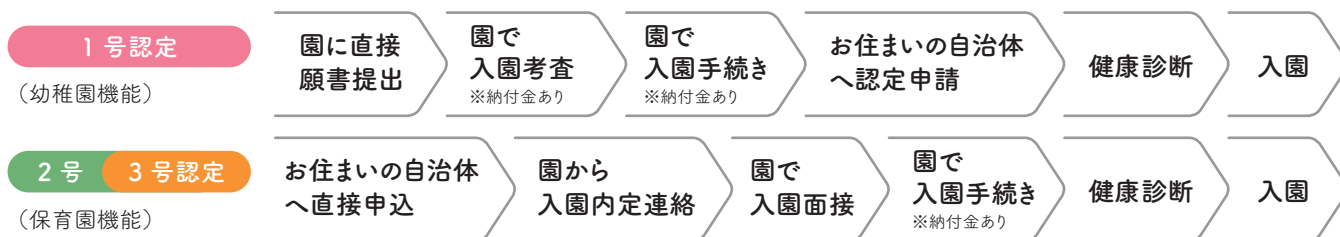
2号 3号認定 月～土 7:15～18:15
18:15～20:15(延長保育)

休業日

1号認定 土曜日・日曜日・祝祭日・創立記念日(10/4)
夏休み・冬休み・春休み

2号 3号認定 日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

入園までのおおまかな流れ(イメージ)



保護者との連携

子どもたちを健やかに育てていくために、大人との信頼関係は不可欠です。保護者の皆様と連携を図り、子どもたちの育ちを共有していきます。

- ① 入園当初は、慣らし保育を行います。
- ② 保護者のどちらかがお休みの場合は、お子様の心の安定のためにもご家庭で一緒にお過ごしください。ご家庭での時間がお子様の活力になります。

納付金

項目	1号認定 (3・4・5歳児)	2号認定 (3・4・5歳児)	3号認定 (0・1・2歳児)
受入準備金 (入園時)	110,000	60,000	80,000
施設維持費 (年額)	100,000	73,600	73,600
保育料	園児が居住する自治体が定めるとおりとする		
教材費 (年額)	36,000	18,000	18,000
給食費	5,500 自治体により異なる	4,500 自治体により異なる	保育料に含む
考査料	5,000	—	—

一時預かり

1号認定対象

※在園児のみ

保護者の就労・病気等で、通常の教育時間の前後に一時的に保育を必要とする場合に利用できます。「月極利用」と「1日利用」があります。

利用日・時間

月～金…8:00～9:00 / 13:30～18:00
 長期休業期間 (春・夏・冬休み期間)…8:00～18:00
 その他園が定める休業日等 (土・日・祝日を除く)…8:00～18:00

利用料金

- ①月極 8月以外…42,000円
8月…47,500円
- ②1日 8月以外…5,100円
8月…5,375円

延長保育

2号認定

3号認定対象

※1歳児クラス以上が利用可能。世田谷区在住園児が対象。

「月極延長保育」と「延長保育」の利用が月12日未満の方が対象となる「スポット延長保育」があります。延長保育では、18:25頃補食を提供いたします。

利用時間

- 1時間型…18:15～19:15
- 2時間型…18:15～20:15

利用料金

- ①月極 1時間型…世田谷区の延長保育料に準ずる
2時間型…1時間型料金×2.5とする
- ②スポット 1時間型…500円 (補食代は別途徴収)
2時間型…1,250円 (補食代は別途徴収)

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

日頃から安全な保育をこころがけておりますが、万が一の事故に備えて、園児全員、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入しています。

給食について

本園では、業務委託による自園調理にて昼食 (給食) を提供します。午睡後にはおやつがあります。また、2号認定及び3号認定の延長保育のお子様は、補食を提供します。別途補食代がかかりますので、ご了承ください。

離乳食

0歳児クラスの離乳食に関しては、3回食になったお子様から対応します。1回食のお子様に関しては、自宅で食事をしていただき、食品目数を徐々に増やせるようにしていきます。離乳食の進め方については、栄養士、担任と相談のもと個別に対応します。

給食の提供

季節感のある献立を年間提供し、年齢に合わせて食育活動も取り入れていきます。

アレルギーの対応について

日本大学認定こども園アレルギー対応マニュアルに基づき適切な対応に努めています。



Q&A



Q1

カリキュラムはどのようなものですか。

1号

2号

3号

A. 「認定こども園教育・保育要領」を基に、年間計画・月案・週案を作成しています。その他、特別教育として運動・リトミック・英語を取り入れています。

Q2

慣らし保育はありますか。

1号

2号

3号

A. 新入園児は年齢や認定区分によりますが、4日間～数日ほど、お子さまの様子を見ながら行います。

Q3

幼稚園機能と保育園機能の生活の様子はどうですか。

1号

2号

A. 保育時間の長短に配慮し、子どもが集中して遊ぶ場と家庭的な雰囲気の中で、くつろぐ場を工夫しながら保育をすすめます。

Q4

幼児のクラス分けはどうなりますか。

1号

2号

A. 1号認定のお子さまと2号認定のお子さまが同じクラスで、こども園共通の幼児教育時間を過ごします。

Q5

延長保育は何時からですか。

2号

3号

A. 18:15～20:15までです。月極利用とスポット利用があります。
※ P. 6参照。1歳児以上のクラスのみ利用可能。

Q6

一時預かりはどんな時利用できますか。

1号

A. 本園の一時預かりは、在園児の1号認定のお子さまが対象で、「就労」「介護」という事由が基本です。なお、利用された場合は、2号認定のお子さまと一緒に過ごします。※ P. 6参照。

Q7

日本大学との連携はどうなっていますか。

1号

2号

3号

A. 三軒茶屋キャンパスのアリーナで運動会をしたり、生物資源科学部へ遠足に行ったり、付属学校の生徒が保育体験を行ったりしています。

Q8

送迎方法を教えてください。

1号

2号

3号

A. 徒歩または自転車・ベビーカーでの登降園をお願いしています。※自転車の駐輪は送迎時のみです。ベビーカーのスペースは0・1歳児クラスの方のみ利用可能です。

Q9

見学をしたい場合はどうすればいいですか。

1号

2号

3号

A. 電話（Tel.03-6450-8120）までお問い合わせください。見学の際はぜひ、お子さまと一緒にお越しください。



Access



学校法人日本大学 日本大学認定こども園

〒154-0003 東京都世田谷区野沢1-32-6
東急田園都市線、東急世田谷線 三軒茶屋駅から徒歩12分
TEL: 03-6450-8120 FAX: 03-6450-8121
MAIL: kdm.office@nihon-u.ac.jp
HP: <http://www.nihon-u.ac.jp/nu-kodomoen/>

